

吉高の大桜 枯枝剪定

令和6年6月22日（土）9：00～15：00 実施

- ・主に北東側に枝の枯損が見られ、枝の状況を確認しながら剪定を実施した。
- ・剪定した部分には溶剤（トップジン）を塗布し、殺菌保護被膜を作った。
- ・剪定後、幹部を中心に殺虫剤（スミパイン）を散布した。
- ・桜には一部キクイムシなどの害虫およびキノコやコケなどが付着しているため、
これらが枯損の原因となっていないか、継続して観察する。
- ・剪定完了後、樹勢の弱まっている北東部をトレンチ掘削し、細根の状態を確認した。
比較的大きめの根が枯死しており、何らかの原因によって根部の生育が阻害されてい
る可能性が高い。トレンチ調査等を行い、状況を確認する必要がある。

⇒次年度以降、継続して経過観察やトレンチ調査等を実施し、桜の状態を維持するよう
に協力していく。次年度の経費について、予算前にもう一度打合せを行うこととなった。









